

令和元年度事業報告

1. 理事会・評議員会・監査の開催状況

(1) 理事会

回数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回	令和元年 5月14日 西会津町老人憩の家	1. 平成30年度事業報告の承認 2. 平成30年度会計決算の承認 3. 理事・監事の選任について 4. 苦情解決委員会第三者委員の選任について 5. 評議員選任候補者の推薦について 6. 評議員会の開催について 7. 評議員会の議案について
第2回	令和元年 5月30日 西会津町老人憩の家	1. 会長・副会長及び常務理事の選任
第3回	令和元年11月20日 西会津町老人憩の家	1. 令和元年度上期事業報告 2. 令和元年度会計補正予算
第4回	令和2年 3月16日 西会津町老人憩の家	1. 令和元年度会計補正予算 2. 令和2年度事業計画(案) 3. 令和2年度会計予算(案) 4. 令和2年度財政運用特別積立金取崩し 5. 令和2年度西会津町との委託事業の契約 6. 就業規則の改正と新設 7. 給与規程と別表6の改正 8. 西会津町奉仕銀行規程の改正 9. 理事の選任 10. 令和元年度第2回評議員会の開催 11. 令和元年度第2回評議員会の議案

(2) 評議員会

回数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回	令和元年 5月30日 西会津町老人憩の家	1. 平成30年度事業報告の承認 2. 平成30年度会計決算の承認 3. 理事・監事の選任
第2回	令和2年 3月25日 書面による決議	1. 令和元年度会計補正予算 2. 令和2年度事業計画 3. 令和2年度会計予算 4. 理事の選任

(3) 監査

回数	開催月日・開催場所	議事及び協議事項
第1回	平成31年 4月22日 西会津町老人憩の家	1. 平成30年度会計及び業務監査

2. サロン推進・支援事業

高齢者等が、住み慣れた地域でその人らしい生活が送れる地域づくりを推進するため、住民やボランティア等が主体となり実施する交流活動を支援することにより、サロン活動の普及拡大を図るため助成金を支給している。また、腰や膝の悪い方でもサロン活動を楽しむことができるようにするために座敷椅子の貸出しを行っている。

(1) サロン支援実績 (R2.3.31現在)

サロン数	45サロン (実施自治区80自治区)
サロン活動助成金	430,000円 (43件)
座敷椅子貸出累計	153脚 (32サロン)
サロン開催チラシ	170件
サロンへの講師派遣	63回

(2) サロン交流会

対象地区・日時	尾野本地区 7月12日(金) 午前10時～12時
参加サロン・参加者数	8サロン / 11サロン 13名参加
	奥川地区 7月17日(水) 午前10時～12時
	9サロン / 11サロン 13名参加
	野沢地区 7月18日(木) 午前10時～12時
	6サロン / 8サロン 10名参加
	群岡・新郷地区 7月24日(水) 午前10時～12時
	11サロン / 13サロン 19名参加

場所 道の駅よりっせ2階研修室

内容 サロン同士の交流会「道の駅で逢いましょう」と題し、新たに使用可能となった「道の駅よりっせ」の使い方説明、及び実際にサロン交流体験を実施
・デマンドバス・定時路線バス等の使い方説明
・新たなサロンメニューの紹介

3. 生活支援体制整備事業

生活支援体制整備事業は、単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療、介護のサービス提供のみならず、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的としている。本会での業務の蓄積を十分生かしながら、「生活支援コーディネーター活動」と「ささえ愛支援会議(協議体)の開催及び推進」について実践している。

また、本事業を展開する上で、行政及び地域包括支援センターと共に事業内容の確認を三者協議という形式を取りながら推進展開をしている。

(1) 生活支援コーディネーターの活動

- ① サロン活動の支援及びサロンシート作成
- ② 潜在するニーズと課題の掘りおこし
- ③ 継続できるサロンの検討
- ④ 地域資源の調査

(2) 協議体3者協議の開催

日時	第1回令和元年5月23日(木)、第2回 7月17日(水)
	第3回 9月24日(火)、第4回11月18日(月)
	第5回令和2年1月16日(木)、第6回 3月19日(木)

場所 老人憩の家

内容 ・協議体での協議内容について
・生活支援体制整備事業全般について

(3) 西会津町協議体の開催（ささえ愛支援会議）

①第1回協議体「ささえ愛支援会議」

日時 平成31年4月16日（火）

場所 道の駅よりっせ

内容 ・テーマ「移送」
・「本来あるべき姿」「目指すべき姿」について協議
・次回までに「知りたい情報」を整理

②第2回協議体「ささえ愛支援会議」

日時 令和元年6月25日（火）

場所 道の駅よりっせ

内容 ・第1回会議「知りたい情報」の調査結果報告
・所属する団体・個人で実践できそうな支援・アイデアについて協議
・町内の社会資源で実践できそうな支援・アイデアについて協議

③第3回協議体「ささえ愛支援会議」

日時 令和元年8月19日（月）

場所 道の駅よりっせ

内容 ・第2回会議に出た支援・アイデアを第3回会議までの間に各団体で検討を行いその結果について報告

④第4回協議体「ささえ愛支援会議」

日時 令和元年10月23日（水）

場所 道の駅よりっせ

内容 ・テーマ「一人暮らし高齢者への早期発見・安否・察知」
・「本来あるべき姿」「目指すべき姿」について協議
・次回までに「知りたい情報」を整理

⑤第5回協議体「ささえ愛支援会議」

日時 令和元年12月18日（水）

場所 道の駅よりっせ

内容 ・第4回会議「知りたい情報」の調査結果報告
・所属する団体・個人で実践できそうな支援・アイデアについて協議
・町内の社会資源で実践できそうな支援・アイデアについて協議

⑥第6回協議体「ささえ愛支援会議」

日時 令和2年2月18日（火）

場所 道の駅よりっせ

内容 ・第5回会議に出た支援・アイデアを第6回会議までの間に各団体で検討を行いその結果について報告
・これまでのささえ愛支援会議の振り返り

(4) 西会津町協議体（ささえ愛支援会議）視察研修

日時 令和元年11月26日（火）

場所 喜多方市役所3階第1会議室

内容 ・高齢者見守り支援ボランティア事業
「わんわんパトロール隊」の活動について

4. 心配ごと相談所運営・生活困窮者自立支援・総合相談支援事業

- (1) 地域住民の方の心配ごと、困りごとに対して適切な助言・指導を行っていくために毎月7日と27日を定例相談日として実施している。
- (2) 生活困窮者自立支援及び総合相談により、地域生活上の多様なニーズ（生活のしづらさ）への対応と住民の相談を確実に受け止め切れ目のない支援につなぐ取組みを進めている。
- (3) 令和元年度に取り扱った件数（R2.3.31現在）

内 容	件 数	解 決	他機関	継 続
生 計 問 題	59	44	6	9
住 宅 問 題	5	4	1	
医 療 問 題	1		1	
家 族 問 題	1	1		
健 康 問 題	2		2	
財 産 問 題	18	4	14	
高齢者福祉問題	3	1		2
合 計	89	54	24	11

5. 奉仕銀行貸付事業

町内の低所得者世帯に対し資金の貸し付けを行うことにより、その経済的自立と生活意欲の助長をはかることを目的としている。

- (1) 奉仕銀行貸付事業の実績（R2.3.31現在）

新規貸付	8件	640,000円
償還金		385,500円
貸付残高	13件	735,500円

6. 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の経済的自立と生活の安定を目指し運営されている県社会福祉協議会の貸付事業であるが、本会で委託を受け相談・受付業務を行っている。申し込み時には民生児童委員の調査意見をもとに内容の検討を行い、借入申込書を提出している。

- (1) お知らせ（払込票・督促状・残額通知等）の発送
- (2) 貸付状況・累計額（R2.2.29現在）

地 区 別	件数	金 額	残 額	延滞	延滞利子
野沢・尾野本地区	11	9,458,483	546,980	5	1,213,058
群岡・新郷地区	2	2,633,437	595,287	1	2,146,109
奥川地区	3	3,660,000	1,388,030	0	0
事務局取扱	1	2,182,500	118,751	1	1,951,938
合 計	17	17,934,420	2,649,048	7	5,311,105

7. ミニデイサービス運営事業

高齢者の介護予防として、当該高齢者の健康維持増進及び生きがいづくりの推進、及び要介護状態にさせないこと、在宅で自立した生活を送れることを目的としてミニデイサービス事業を実施している。

- (1) ケース検討会・ミニデイ職員研修 毎月開催
3ヶ月に1回地域包括支援センター、行政担当者と共に事業内容、利用者状況について情報共有と検討を実施している。
- (2) 他団体の協力活動
食支援ボランティア「エプロンの会」による昼食提供 月2回
昔語りボランティア「西会津語りの会」による語りべ 月2回
(令和2年3月中止)
- (3) ミニデイ利用者 (R2.3.31現在)
月曜日 6名 ・ 木曜日 9名
火曜日 6名 ・ 金曜日 7名
- (4) ミニデイ利用実績

月	令和元年度		平成30年度		増減	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数
4月	16	150	16	123	0	27
5月	16	136	17	147	△1	△11
6月	16	129	17	147	△1	△18
7月	17	128	17	151	0	△23
8月	14	114	15	130	△1	△16
9月	15	121	14	129	1	△8
10月	17	134	18	167	△1	△33
11月	16	123	17	154	△1	△31
12月	16	116	15	140	1	△24
1月	15	85	14	119	1	△34
2月	14	85	15	133	△1	△48
3月	17	102	16	142	1	△40
合計	189	1,423	191	1,682	△2	△259

8. 奥川元気クラブ運営事業

新総合事業の一般介護予防事業として、利用者はもとより、多くの方が支援者(協力者)として参加していただくことで、事業参加者みんなの介護予防を目指し、一人ひとりの生きがいや自己実現の取り組みを支援し、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができることを目的として実施している。

- (1) 奥川元気クラブ 毎週水曜日(週1回) 年間49回実施
利用者 13名/指導員 9名/レク活動協力者 3名/外部講師

令和元年度利用者人数

月	回数	人数	月	回数	人数	月	回数	人数	
4月	4	43	8月	3	27	12月	4	46	
5月	4	41	9月	4	48	1月	4	46	
6月	4	42	10月	5	51	2月	4	49	
7月	5	48	11月	4	39	3月	4	51	
							合計	49	531

(2) 関係者会議 年間3回開催

年間事業計画、活動日の担当指導員、活動詳細及び利用者状況について情報共有と検討を実施している。

第1回関係者会議

日時 令和元年7月23日(火) 午後6時～7時
場所 奥川みらい交流館 第1研修室
参加者 12名(指導員8名・町1名・社協3名)

第2回関係者会議

日時 令和元年11月21日(木) 午後6時～7時
場所 奥川みらい交流館 第1研修室
参加者 11名(指導員7名・町1名・社協3名)

第3回関係者会議

日時 令和2年3月17日(火) 午後6時～7時30分
場所 奥川みらい交流館 第1研修室
参加者 10名(指導員6名・町1名・社協3名)

(1) 他団体の協力 昼食提供

食支援ボランティア「エプロンの会」 年6回実施
西会津ヘルプふれ愛グループ(JA女性部) 年3回実施

(2) 奥川元気クラブ公開講座

奥川元気クラブの活動を奥川地区住民に身近に知ってもらう機会とするとともに併せて介護予防普及の場とすることを目的として実施している。

日時 令和元年8月28日(水) 午前10時～午前11時30分
講話内容 なるほど!納得!正しく学ぼう認知症
講師 会津中央病院 旭 修司 医師
参加者 28名(利用者10名・指導員4名・地域住民14名)

9. 福祉教育推進事業

- (1) 認知症サポーター養成講座 西原輪サロン 6月6日(木)
- (2) 高齢者疑似体験 西会津小6学年 35名 2月7日(金)

10. 日常生活自立支援事業(通称:あんしんサポート事業)

認知症や知的障がい・精神障がいなどにより判断能力が不十分な方々などを対象として、地域で自立した生活が送れるように福祉サービスの利用援助や預貯金の出し入れといった生活支援を支援員により実施している。

令和2年3月末	利用契約実績	2件
	延支援回数	19回
	援助相談	58件
	実働支援員	1名(登録6名)

11. 在宅福祉サービス事業（日常生活用具の貸出）

電動ベッドや車椅子等必要でなくなった方々から寄付された用具を、要介護等の理由により日常の生活をおくるのに困難な方に無料で貸し出している。

貸出状況（R2.3.31現在）

種類	台数	貸出数	在庫数
ベッド	17	12	5
車イス	16	10	6
マットレス	23	10	13
ポータブルトイレ	15	5	10

12. 除雪機貸与事業

高齢者・障がい者世帯に対する除排雪支援を行う地域ぐるみの取り組みとして除排雪を行う者及び高齢者・障害者世帯等を支援し、見守り体制の整備に資するため除雪機貸与事業を実施している。

令和元年度 貸出し実績なし

13. 民生児童委員協議会事務局

社会福祉協議会と民生児童委員協議会は地域福祉活動の観点からも密接な関係にあり、事務局として毎月の定例会・地区会議の準備や情報の提供等を行ない、地域福祉を支える民生児童委員活動を積極的に支援している。また、各種調査や歳末義援金等民生児童委員に協力をお願いしている。

14. 福祉協力員

福祉の問題を抱える高齢者や障がい者等に対して、地域住民の立場から問題の早期発見や連絡、関係機関との連携、地域支え合いの機運づくり等の支援を図り、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めるため委嘱している。

（1）令和元年度 福祉協力員 20名

（2）民生児童委員・福祉協力員活動報告会

日時・場所 野沢・尾野本 5月28日（火）10:30 道の駅よりっせ
群岡・新郷 5月27日（月）14:30 保健センター
奥川 7月26日（金）14:30 奥川支所

（3）福祉協力員ニュースの発行 令和元年 6月3日付ニュースNo.7発行
令和元年12月6日付ニュースNo.8発行

15. 見守り協力員

年間を通しての見守り活動を行うとともに、降雪時には玄関先の日常的な出入りのための道付けと声かけを行うことにより、誰もが安心して暮らせる環境づくりを進めるために依頼している。

（1）令和元年度 見守り協力員 248名（R2.3.31現在）

16. 福祉団体事務局支援（育成）

町内の各福祉団体の事務局として協力をしており、財政面についても赤い羽根共同募金からの助成金を有効に活用し、各福祉団体の会員間の交流のため積極的な援助を図っている。

〈社会福祉協議会が事務局を受託する団体〉 西会津町ボランティア活動サポートセンター
西会津町身体障がい者福祉会
西会津町手をつなぐ親の会
西会津町母子福祉会
西会津町赤十字奉仕団

17. 福祉団体・ボランティア団体助成金実績

合計 710,000円

社会福祉法人西会津町授産場	150,000円
西会津町身体障がい者福祉会	100,000円
西会津町母子福祉会	20,000円
西会津町手をつなぐ親の会	20,000円
西会津町ボランティア活動サポートセンター	200,000円
西会津町老人クラブ連合会	100,000円
昔語りボランティア西会津語りの会	20,000円
精神保健福祉ボランティアトライアングルの会	50,000円
読み聞かせボランティアグループももたろう	50,000円

18. 西会津町老人憩の家管理運営事業（指定管理者）

地域福祉の推進及びサロンの支援とともに、生活支援体制整備事業に取り組む拠点施設として、また施設の設置目的である「高齢者の教養の向上の場として、心身の健康の増進を図る」という趣旨を生かせるように管理運営している。

（1）他団体の協力活動

5月24日（金） 西会津町老人クラブ連合会女性部 草刈り作業
5月16日（木） 西会津町母子福祉会 奉仕作業（窓ふき作業）
10月17日（木） 西会津町母子福祉会 奉仕作業（窓ふき作業）

（2）憩の家利用実績

月	令和元年度		平成30年度		増減	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
4月	16	157	19	102	△3	55
5月	24	297	25	356	△1	△59
6月	22	225	21	215	1	10
7月	26	265	22	228	4	37
8月	19	171	20	220	△1	△49
9月	21	168	20	193	1	△25
10月	30	260	19	156	11	104
11月	18	156	18	167	0	△11
12月	7	46	9	40	△2	6
1月	10	87	10	91	0	△4
2月	15	269	21	291	△6	△22
3月	17	248	22	289	△5	△41
合計	225	2,349	226	2,348	△1	1

19. 会員会費

昭和48年度より全戸会員会費制を実施し一般会員会費の目標額を一世帯500円としてご協力いただいている。一般会員会費のとりまとめは自治区長に依頼し、特別会員会費（一口1,000円）については社協役員をはじめ評議員や民生児童委員の方々にご協力を募っている。

(1) 令和元年度会員会費実績 (R2.3.31現在)

一般会費 1,149,000円 (2,296戸)
特別会費 1,293,500円 (1,100件)

(2) 令和元年度寄付金 実績額 1,575,000円 (R2.3.31現在)

内 訳 御遺志 1,480,000円 (77件)
御寄附 95,000円 (4件)

20. 広報誌作成・ホームページ更新

(1) 広報誌の定期刊行による社会福祉協議会事業の周知、ホームページの更新

21. 諸募金運動の推進

(1) 赤い羽根共同募金

赤い羽根をシンボルとする募金運動を10月1日より展開、自治区長を初め住民各位の協力と理解により実施している。この募金は、地域福祉のための事業や各福祉団体等の活動費として助成される。

□ 令和元年度の実績

目標額 1,700,000円

実績額 1,613,670円

内 訳 一般募金 1,131,700円
法人大口募金 371,500円
職域学校募金 110,470円

(2) 歳末たすけあい募金

「みんなで明るいお正月を」をスローガンに12月1日より支援を必要とする人達のために展開し、住民各位、各種団体の温かい善意により多額の募金が寄せられ、在宅独居・寝たきり高齢者等に義援金として助成される。特に老人クラブの募金活動には多くの協力をいただいている。

□ 令和元年度の実績

目標額 2,000,000円

実績額 1,971,414円

内 訳 一般募金 1,099,900円
個人募金 361,630円
職域募金 509,884円

□ 歳末義援金助成状況

生活困窮世帯	2世帯×10,000円＝	20,000円
母子世帯	8世帯×5,000円＝	40,000円
ひとりぐらし高齢者	17世帯×5,000円＝	85,000円
寝たきり高齢者	5世帯×5,000円＝	25,000円
重度心身障がい者児	13世帯×5,000円＝	65,000円
おせち料理事業費		171,338円
見守り協力員事業費		151,580円
合 計		<u>557,918円</u>

(3) 助成状況

令和元年度赤い羽根共同募金助成金 1,106,944円

【 1,657,944(平成30年度募金実績) - 551,000(広域助成) = 1,106,944 】

令和元年度歳末たすけあい募金助成金 1,245,833円

【 1,914,337(平成30年度募金実績) - 668,504(当年度歳末事業費) = 1,245,833 】

22. 日本赤十字社事業の推進

毎年5月は赤十字社員増強運動月間として社費の募集を行なっている。一般社費は自治区長の協力を得て実施している。

(1) 令和元年度の実績額

目標額 1,382,000円

実績額 1,233,000円

内訳 一般社費 1,213,000円 (2,287戸分)
特別社費 20,000円 (1名分)

23. 災害義援金関係 (R2.3.31現在)

(1) 東日本大震災義援金累計額	<u>5,942,954円</u>
(2) 熊本地震災害義援金累計額	<u>1,536,670円</u>
(3) 西日本豪雨災害義援金累計額	<u>1,385,825円</u>
(4) 北海道胆振東部地震災害義援金累計額	<u>41,916円</u>
(5) 福島県台風19号災害義援金累計額	<u>35,844円</u>

24. 福島県台風19号関係

(1) 職員の派遣

福島県・市町村社会福祉協議会における災害相互支援に関する協定書第5条に基づく職員の派遣による支援

10月17日(木)～20日(日)の4日間 郡山市芳賀サテライト

(2) ボランティアバスの運行

町・社会福祉協議会・ボランティア活動サポートセンターで災害復興ボランティア活動を行うためボランティアバスの運行

10月29日(火) 8名参加 郡山市徳定サテライト

(3) ボランティア活動の実施

町・社会福祉協議会の職員により災害ボランティア活動

11月2日(土) 9名参加 郡山市徳定サテライト

25. 第3回西会津町社会福祉大会

11月9日(土) 西会津中学校 多目的ホール

来場者 276名 チャリティ募金 31,951円